

しぜんきょうしつ み 自然教室で見られる

むし ひつつき虫!

二浦トピックス

第172号

自然教室の様子

(122)

発行者
清泉小学校
自然教室



チヂミザサ



オオオナモミ



ヌスビトハギ



アメリカセンダングサ



イノコヅチ

ひつつき虫といっても昆虫ではありません。トゲやフックにより動物の毛や洋服にくっついて遠くに運ばれる植物の種子や果実のことです。最も有名なのがオオオナモミです。ラグビーボール形の実にカギ状のトゲがたくさんあり、服などにひつつきます。田んぼの奥に3年ほど前からたくさん生えてくるようになり、6年生は、4年時の秋合宿でのあてゲームを行いました。66号で花を紹介したチヂミザサも芒がトゲとなってひつついてきます。沼の周りに黄色い花を咲かせていたアメリカセンダングサも花が終わり、種子が出てきています。先端に2本のトゲがありひつつきます。108, 128号で花を紹介したヌスビトハギも花が終わり半月形の実がついています。この形が盗人の忍び足で歩く足跡に似ているから名前がついたという説もあります。表面に毛が密生しているマジックテープ式のひつつき虫です。

142号で紹介したヒカゲイノコヅチの果実もひつつき虫です。